

シルバーつちうら

会員数

男 318人

女 109人

合計 427人

平成29年1月1日現在

2017年（平成29年1月20日発行）

第64号

編集・発行 / 土浦市シルバー人材センター広報委員会

〒300-0052 茨城県土浦市東真鍋町2番5号 TEL 029(824)8281 / FAX 029(823)3007

ホームページ / <http://www.tsuchiura-sjc.jp/>



謹賀新年

理事長 牧島 国法



平成二十九年の新春を迎え、お慶び申し上げます。

昨年、掲げた事業・業務目標について、皆様のご支援も頂きながら一歩また一歩と歩を進めてまいりました。

本年も、理事会並びに各委員会・地区長会・班長会そして会員の皆様・事務局職員の総力を結集して、次に掲げる諸施策の歩を進めていく所存です。

- 一「中・長期、行事・業務、計画」策定と実行
- 一市や社協と協議を重ねている「土浦市介護予防・日常生活支援総合事業」の立ち上げ
- 一チラシの全戸配布やボランティア活動などでの「市民へのアピール」
- 一「臨・短・軽」十日／月・二十時間／週」の順守に向けての諸策
- 一工業団地をはじめ企業からの「新規契約並びに派遣契約の確保」への就業開拓活動
- 一「会員となったのも、何かのご縁」就業職場や互助会行事そしてボランティア活動を通してのシルバー人生です。「仲良く・笑顔で・健康で」

結びに、本年も皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



土浦市長
中川 清

新年あけまして、おめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、平成二
十九年の新春を、お健やかに迎え
えのことと心よりお慶び申し上げ
ます。

牧島理事長をはじめ、土浦市シ
ルバー人材センター会員の皆様には、
日頃から市政各般にわたり、格別
なるご支援・ご協力を賜り、厚く
お礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、英国の
EU離脱、トランプ次期米大統領の
TPP離脱表明、先進国の政情不
安等、我が国を取り巻く環境は大

きく変化しており、安全保障の面
でも、北朝鮮の核実験、欧米で相
次ぐテロ事件、中国の海洋進出等、
先行き不透明感が高まっております。

このような中、会員の皆様にお
かれましては、長年培われた豊富
な知識や経験、技能を生かされ、
健康や生きがいの増進と地域社会
の活性化に大きく寄与されており、
そのご尽力に対し、深く敬意を表
するとともに、心から感謝を申し
上げる次第であります。

市といたしましても、誰もが生き
がいと誇りを持って、住み慣れた地
域や家庭で元気に安心して暮らす
ことができるよう、各施策を推進
してまいりますので、一層のご支
援・ご協力をお願い申し上げます。
結びに、今年が、皆様にとりまし
て、素晴らしい一年となりますよ
うご祈念申し上げます、新年のあいさ
ついたします。



土浦市議会議長
矢口 清

土浦市シルバー人材センター
の皆様におかれましては、平成
二十九年の輝かしい新春を健や
かにお迎えのことと、心からお
慶び申し上げます。

現在、わが国は世界に例を見
ない速度で高齢化が進行してお
り、本市におきましても、七十
五歳以上の方が全人口の約十二
%、六十五歳以上となりますと
約二十七%と、超高齢社会の真
つ只中にあります。

そのような中、豊かで活力あ
る長寿社会を実現するために、
高齢者施策の充実が市政の重要
課題となっております、シルバー人
材センターへの期待がますます
高まっていると存じます。

貴センターの事業活動は、高

齢者の就労の場の確保や生きが
いの創出など、地域社会に大き
く寄与され、また、会員の皆さ
んの誠実で堅実な仕事ぶりによ
り、着実に事業成果を上げられ
ており、心から敬意と感謝の意
を表する次第です。

今年の干支である「酉（とり）」
は、果実が成熟の極限に達した
状態を表す言葉だそうです。ど
うか今後とも、皆様方の豊富な
知識とご経験を活かされ、高齢
者が安心して暮らせる平和なま
ちとして、土浦市政において素
晴らしい成果が得られるよう、
お力添えを賜りますことをお願
い申し上げます。

結びに、土浦市シルバー人材
センターの益々の発展と、会員
の皆様方のご健勝、ご活躍を心
から祈念申し上げます、新年の挨拶
といたします。



酉年 年男・年女

年男・年女を迎えられた皆様です。おめでとうございます。

- 佐野 保
- 石川 治
- 前川 よう子
- 小林 隆
- 美和 靖昭
- 角田 之子
- 谷川 信威
- 内藤 忠雄
- 大山 信孝
- 倉田 英行
- 笹沼 秀夫
- 遠藤 守
- 藤田 茂雄
- 関 美智江
- 古谷 浩
- 山口 郁夫
- 富嶋 悦代
- 丸山 祐章
- 塚原 勇
- 春日 光樹
- 館 きん子

(敬称略)

「足りないものは？」

美和 靖昭



終戦の年、昭和二十年生まれの年男です。

文字通り「戦後」

と共に年を重ねて

まいりました。イモが常食の貧しかった幼少期、紛争が日常化していた学生時代を経て、「モーレッツ社員」人生約四十年。会社をリタイアしてしばらくは、旅行や趣味を楽しんでおりましたが、「何かが物足りない」？そう、あの長かった会社勤めで培われた「張り合い」だったのです。それと正直、年金暮らしでのお小遣いも不足がち。そんな悩みに応えてくれたのがシルバー人材センターでした。入会後十年の間に、広報紙の梱包・配送、交通量調査や公民館の夜間管理など色々な仕事を経験させてもらいました。一緒に働く会員同士の語りも楽しく、また、会員参加によるボランティア活動も充実感があり、会社員時代とはまた違った張り合いを得ることが出来ました。

これからも「不足のない人生」

のため健康を維持し、仕事に励んでいきたいと思っています。

「年男になって」

古谷 浩



定年する前には、

定年後はハローワークで行う三か月間の

庭木剪定講習会に参

加して、自宅や近所

のお宅の庭木剪定をしたいと思います

ておりましたが、それがだめにな

ってしまったのでシルバー人材セ

ンターに入会してみました。入会

後、一週間の庭木剪定講習会を受

けましたが、一週間では一人前と

して就業することが出来ませんで

した。その他、襖張・パソコン・

警備・移動送迎サービスや運転協

力者研修などの講習は受けさせて

いただきましたが、最初の仕事は、

一年間保育所の芝刈りと水まきで

した。

現在は、仕事を頂いておりませ

んが、互助会ゴルフ同好会の大会

や年末のカラオケ&忘年会には参

加しております。また、土浦市子

ども会育成連合や三中地区公民館

の広報、町内会の役員など忙しく

活動しております。さらに、健康

のためにウォーキングや趣味のゴ

ルフを年に十数回行って人生を謳

歌しております。

新入会員の紹介

(七月十一〜十一月三十日)

一中地区

小山田 博

柿沼 光子

三中地区

倉田 英行

廣富 文子

寺田 公郎

四中地区

原 豊

五中地区

圓城寺 賢一

六中地区

本橋 雅江

内藤 忠雄

都和中地区

田村 アイ子



草刈り作業の様子



◎草刈り業務の仕事

植木剪定作業の様子



◎植木剪定業務の仕事



民間企業では、
◎清掃の仕事
(学法) 筑波研究学園、ジョイフル本田ペットセンター、カスミ精肉センター、土浦商工会議所、(学法) 筑波学園、千代田エンジニアリング、IBCビル、白鳥保育園、土浦ジステック、浄真寺、(株)ピージェイシーなど



管理業務の様子



◎管理業務の仕事
民間企業では、オリエンタルモーター、滝の園、桜川ハイツなど

清掃作業の様子



理事会だより

理事会の動向をお知らせします。

第一段としまして、組織について理事長以下十五名の理事と二名の監事で構成され、代表理事(理事長と副理事長二名)がセンターの代表として、運営全般を行い、対外的に業務執行に関して包括的な権限を有します。理事会は法令や定款で定められた重要な業務に関して意思決定を行います。

また、委員会を設置(理事及び会員で構成)して諸施策を運営しています。

- ・ 就業開拓委員会は、新規顧客の開拓、派遣事業への顧客折衝など。
- ・ 会員対策委員会は、会員募集及び就業会員に関することなど。
- ・ 女性委員会は、女性会員拡大及び介護事業に関する女性の視点での参画など。

- ・ 安全就業対策委員会は、作業の安全やトラブル事故への対応など。
- ・ 広報委員会は、センターのPR、会員への情報提供など。

さらに、経営戦略会議として、中・長期の行事業務計画の策定、新事業の推進を行っています。

視察研修報告

十一月二十九日、埼玉県草加市のシルバー人材センターを理事長・理事・監事・事務局計十七名で視察を行いました。

草加市は、本市に比べ五倍近くの会員数が出て、数多くの事業を行い、中でも女性が活躍できる、生活支援(手助け)サービスや親子のひろば(のびくすく)など就業機会の開拓・拡大が図られており、本市においても重要性を強く感じるものでした。また、従事する職員も会員からの嘱託職員であり会員と職員とが二輪車となって上手に運営されているようで、参考すべき点の多い視察研修でした。

視察研修の様子



互助会同好会報告

ゴルフ同好会より

昨年は、玉造ゴルフクラブ若海コースなどで開催しました。天候に恵まれ、楽しくプレイしました。

ゴルフ同好会会員



カラオケ同好会より

歌ってストレス解消をいかが!?

カラオケ同好会会員



大忘年会参加の皆さん



ボーリング同好会より

毎月第三月曜日十時から、パニツクボウルつくばで行っています。

ボーリング同好会会員



※会員五名以上で活動する場合は、互助会同好会にしてみても?

◎十二月二十九日(木)ホテルマロウドにて大忘年会が行われました。皆さん、和気あいあいと楽しい一時を過ごすことが出来ました。

互助会だより

互助会会長 内山 隼榮

会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は、互助会事業にご協力頂きありがとうございました。

本年は、さらに充実した内容で会員皆様の親睦を深めて頂けるよう役員一同努力して参ります。

互助会としても皆様が一人でも遊んでいる方がいないよう努力して参りますので、是非とも同好会に参加して親睦を深めて頂きたいと願っております。

昨年は、百人前後の仲間が仕事をしていたにもかかわらず、話を聞くと中には、「仕事の選り好みをしたり、わがままを言ったり、無責任だったり、理屈っぽかったり、時間給が安いとか」こんな人には、誰も仕事は頼みませんよね。これからは、発想の転換をして、お客さんの立場になって考え、健康管理、あいさつ、仕事は素直に受けて仲間と仲良くそして少し我慢をして努力するものだと思います。事務局の皆様そして互助会全員一丸となって頑張りましょう。

◇ボランティア活動報告◇

副理事長 高橋 和興

会員皆様のご協力により、土浦駅西口周辺の清掃活動も一年を迎えました。会員同士の交流、市民へのセンターPRを目的のもとに実施し、延べ百二十九名の参加を頂きありがとうございました。

シルバーつちうら

ポイ捨てのたばこ、空き缶、道端の草取りなど夏の暑い盛りには苦勞もありましたが、通りすがりの人から「おはようございます。ご苦勞様」と声をかけてくれることも多々ありました。

少しは、シルバー人材センターの宣伝効果になったこと。また、普段交流のなかった会員、顔、名前をお互い知り合えたことは、仲間意識の向上に繋がって行けたようにも思われます。

第64号

これからは「土浦駅周辺のみでなく、荒川沖・神立駅周辺も、近くの会員の参加を頂き、より広くPRして行こう」との声も出ておりますので、無理なく、参加できる方が時間を作り、積極的に、自然に会員の輪を広げていければ、センターの会員拡大と組織体制の

強化、地域社会への貢献に役立つものと思えます。

清掃活動の皆さん



清掃活動の様子



事務局より

講演・講習会開催について

- 事故防止・詐欺被害防止講演会
二月九日(木) 午前十時
- 植木剪定講習会
二月二十一日(火) 午前九時半

参加希望の方は、事務局まで連絡してください。

☆新しく職員が採用されました。



・久賀 紀子さん
趣味は、サスペン
ストドラマを見ること、
紅茶集めです。

一日も早く、会員皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしく願います。

※安全就業の基本行動について

- ① 正しい服装・保護具の着用、特に屋外作業時にはヘルメットを着用する。
- ② 就業前のミーティングの実施、特に作業手順や「安全のポイント」を確認する。
- ③ 作業前は、あせらず落ち着いて、特に不慣れな作業は、「安全ポイント」思い浮かべてから行う。
- ④ 声かけ・コミュニケーション
気になったら積極的に声をかけ

て普段から仲間同士のコミュニケーションをとる。

- ⑤ ひと仕事ひと片付け、特に作業スペースや通路の確保は安全就業の基本です。

◆郵送した配分金支払い証明書は、平成二十八年に就業して得た配分金に関する証明(書)となりますので、確定申告に利用して下さい。

表紙の写真

都和地区公民館の清掃作業の様子です。

あとがき



新しい広報委員四名が加わり内容も充実した広報紙にしたいと考えておりますので、会員皆様のご協力をよろしく願います。今年も良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

- 委員長 前田 浩
委員 高橋 和興 竹廣 紀文
中村 久生 大井恵美子
池 和親 古屋義幸